

# ねっせわーく



22. 11. 25 No.23

◆指導主事招聘授業研、お疲れ様でした、また、ありがとうございました(^\_^)

今年度最後の指導主事招聘授業研、奥山先生、阿部宏先生、ありがとうございました。授業だけ拝見させていただき、事後研究会に混ざれずすみませんでした。事後研に混ざれなかったので、以下、個人的な感想になります。

## □3の1 奥山先生の授業から学んだこと

・奥山先生の授業リズム（とでもいうのでしょうか(^\_^)に、子どもたちがしっかりとついてきているなと思いました。奥山先生の発言に対して、反応が素早い子どもがたくさんいましたね。「授業づくりは、学級づくり」と昔から言われているわけですが、授業を通して、そうした子どもたちが育っているのだな～と思いました。

教える段階ですが、後の考える段階を考慮して、何を教えるべきかが、揺れていたのかなと感じたところです。つまり、読ませたいのか書かせたいのか、です。子どもの感覚から言うと、まず読めるようになって、そこから書くという段階が入るのかなと思いました。授業に入る前に、奥山先生から「読めるんだけどなかなか書けない」という子どもの実態をお聞きしたので、そこが、ポイントになったのかなと思います。ただ、授業の中で、「千万百万十五万」という読み間違えを、わざと先生が提示してくださったのはよかったですね。うまく言えないのですが、なぜそれが違うのかを子どもたちにかえしたり、子どもたちが話し合える場面を設けたり…と思ったところでした。ただ、確かに低位の子にとっては、空位が難しいですよ。ね。「一十百千万の繰り返し」という技、定着させたいところですね。ありがとうございました。



## □6の1 阿部先生の授業から学んだこと

・阿部先生から相談を受けて、「比例あたりが」と提案しました。実は、ちょうど同じところを長者小でもやっていて、簡単そうに見えるけれども、ちょっと奥が深いかな（いわゆる縦にみる見方…比例定数のところ）と思ったものでしたので…。

教える段階で、ていねいで、かつ板書など構造的でよかったなあとと思いました。難しいのは、横の見方もできるけど、縦の見方で考えてほしいという阿部先生の願いと、そう教わっても、どうしても横に見てしまう子どもたちのズレを、どう修正していくか、かなと思いました。



実は、そのズレを修正していくために、「速く正確に求められるのは縦の見方だ」という仕掛けを準備。それに気づいた健太郎君はすごかったです(^\_^)あと後々の表をグラフ化するという学習を想定して「0」を考えさせる問題として準備していたのですが、さらっとみんな「0だべ」とわかってしまったようでした。児童の実態から、横の見方（比例の性質）と縦の見方（比例の定義）を分けての授業も視野に入れていかなければならないのかなと、いろいろと勉強させていただきました。ありがとうございました。